

主な活動や発問と予想される保護者の反応		時間	支援・留意点
導入	<p><b>自己紹介</b> アンケート結果を知り、テーマについて考える意欲をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じことで悩んでいる</li> <li>・見ているところは様々なんだな</li> </ul> <p><b>アイスブレイキング(パスデイ・ライン)</b></p> <p>4人で小グループをつくり座る</p> <p>グループの進行役を決める</p>	5	<p>留 コメントをいくつか紹介し、今回の研修のテーマ『思春期の我が子とともに生きる』について考えていくことを知らせる。</p> <p>留 緊張がほぐれ、和やかな雰囲気になるよう元気に明るく対応する。</p> <p>留 近くの人同士で誘い合わせるように働きかける。</p> <p>留 順番に話せるよう指名する役割であることを伝え、負担感を和らげる。</p>
課題提示	<p><b>資料を読み内容と場面を理解する</b></p> <p>発問 「あなたはこの保護者の行動をどう思いますか？」</p> <p>「あなたならどうしますか？」</p> <p><b>資料の母親の対応について、考えを出し合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私なら読まない</li> <li>・子どもに黙って読んだのはひどい</li> <li>・私もきっと読むだろう</li> <li>・子どものことが心配なので読むだろう</li> <li>・そのときにならないと分からない</li> </ul>	5	<p>留 丁寧に読み進める。</p> <p>留 様々な考えがあっていいことを伝え、互いに本音が出せるように働きかける。</p> <p>留 話が進んでないグループには、支援者自らが保護者に働きかける。</p>
課題を掘り下げ	<p><b>自分の価値観に目を向ける</b></p> <p>発問 「どうして、そう考えたのですか？」</p> <p>「自分自身が親に育てられてきたことや親からの影響などを振り返りながら考えてみてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親も「見なかった」「見た」と思う</li> <li>・親に育てられたように自分も育てているかもしれない</li> <li>・親に育てられて嫌だったことと逆のことをしているかもしれない</li> <li>・意識したことがないので分からない。</li> </ul> <p><b>親の生き方が自分に影響を与えていることに気付く</b></p>	15	<p>留 じっくりと考えられるように、時間的にゆとりをもつ。</p> <p>留 「親に育てられた自分」と「自分に育てられている我が子」から、親の生き方や育て方が、子どもに影響を与えていることに気付けるよう、働きかける。</p>
新たな気付きへ	<p>発問 「お母さんの生き方のなかで、大切にしていることは何ですか？」</p> <p><b>それぞれが自分が大切にしていることを語る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が育てられたことを子どもにしている</li> <li>・自分の体験が子どもの育て方に影響している</li> <li>・親からしつけられたことを受け継いでいる</li> <li>・行動一つとってみても、そこに自分自身が映し出</li> </ul>	15	<p>留 子どもにかかわる自分自身の生き方が問われていることへの気付きにつなげたい。そのために、子どもに向けていた考えの方向を自分自身に向けたい。</p>

<p>されている</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>これまで皆さんと一緒に考えてきたことを振り返ってみると、『自分の生き方』と『子どもへのかかわり』はつながっているように感じますね。</p> </div> <p>自分の考え・価値観は、自分が生きてきたなかで培われてきたことに気付く。 「自分が生きること」が「子どもが生きること」が繋がっていることに気付く。</p>	
<p>終末・まとめ</p> <p>今日考えてきた子どもへのかかわりと自分自身の生き方を振り返りながら、活動のまとめの話を聞く。 例えば次のような話をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが思春期を迎えるとき、親も思秋期を迎えつつあり、難しい時期を生きていること</li> <li>・親が自分自身の人生を考えると、子どもをしっかり視野に入れ、子どもとともに生きていくことが大切であること</li> </ul> <p>感想を記入する</p>	<p>10 留 席を前向きに変える。 保護者の思いを取り上げ、ゆっくり語りかけるように話す。</p>

【配布資料】

私の子どもは、中学生です。子どもは、中学一年生の途中から、言葉遣いが乱暴になってきました。話しかけても「別に。」とか「ちょっとね。」と面倒くさそうです。自分の都合が悪くなると「うるさいな。」と、すぐ怒った口調になり、会話になりません。

干渉されるのが嫌なのでしょうか？ゆっくり話をしたいと思うのですが、なかなか話できません。部活で疲れているからかな...とも思い、また、あまりしつこいといっそう機嫌が悪くなるので、あきらめてしまいます。

夕飯を食べると、私の携帯を借り、さっさと部屋に行ってしまう。誰かとメールをしているようなのですが、履歴が消されているのでわかりません。

小学生の時は、うるさいくらいに話してくれたのに、話しかけても「ちょっとね。」などと言われるのでは、何かうそをつかれているようで、子どもの言っていることが信じられず、また、子どもがいったい何を考えているのか分からなくて心配でなりません。

ある日、子どもの部屋を掃除していると、机の引き出しが少し開いていたので、何気なくちょっとのぞいてみると、そこには小さく折りたたんだ手紙のようなものがありました。

私は、手紙を読んでもよいのかとためらいましたが、今の子どもが気がかりだったので、思い切ってその手紙を読んでみました。

手紙には、部活や友人のこと、テレビのドラマのことが書いてあっただけで、ちょっとほっとしましたが、私の知らないお子さんからの手紙でした。中学校で新しくできた友達かもしれません。

手紙をそっと元へ戻した後、勝手に子どもの手紙を読んだことに後悔の気持ちがわいてきました。もし、気付かれたら子どもに何て言うのか...。私は子どもを信じていなかったのではないかと...。でも、成長していく子どもがますます分からなくなりそうで...。友達は大丈夫なのか...。親としてどうしたらよいのか...。いろいろな気持ちが入り乱れ、とても不安な気持ちになってきました。